駅前健康相談センターだより

腸閉塞（ちょうへいそく）

口からとった食べ物や飲み物は、食道を通り、胃、小腸、大腸と消化管を通過していく間に消化・吸収されて、残りが肛門から便として排泄されます。

しかし何らかの原因で、小腸や大腸のどこかがふさがって、内容物が通過できなくなり、腸内にとどこおってしまうことがあります。これが「腸閉塞」です。

腸閉塞の主な症状

腹部膨満感（ふくぶぼうまんかん）
吐き気
嘔吐
腹痛
腹鳴
脱水症状

重症になると・・・

発熱・感染症
ショック状態
腸管壊死（ちょうかんえし）・穿孔（せんこう）

腸閉塞の主なタイプ

【小腸で起こる腸閉塞】 腸閉塞の多くは小腸で起こり、原因の殆どが癒着によるものです。

癒着（ゆちゃく） …… 腸管と腹膜、あるいは腸管どうしがくっつく。

お腹の手術を受けたあとに、腸の傷を修復しようとして、腸管と他の臓器がくっつくために起こる。

腸捻転（ちょうねんてん） …… 腸管がからまる。

嵌頓（かんとん）ヘルニア …腸の一部が腹壁（ふくへき）から外に飛びだして、戻らなくなる。

【大腸で起こる腸閉塞】 大腸がふさがって起こり、最も多い原因が大腸がんです。

大腸がん …… 腸壁に生じたがんが腸管を塞ぐ。

腸捻転 …… S状結腸で腸管がからまる。

高齢になると、腸の蠕動（ぜんどう）運動が低下したり、腸液の分泌量が減少したりするなど体のさまざまな機能の低下から、腸閉塞が起こりやすい要因が増えます。
また、若い人と比べて、腹痛などの自覚症状が現れにくくなり、重症化することがあるため注意が必要です。

腸閉塞の診断

☆　問診（自覚症状、腹部の手術の有無など）
☆　診察（腹部のガスのたまり具合い、痛み、腸の動きなど）
☆　血液検査（炎症の有無）
☆　血液画像検査（腹部超音波、エックス線、ＣＴなど）

腸閉塞の治療

腸閉塞のタイプや状態にもよりますが、基本的には次のような治療が行われます。

◇　絶飲、絶食
◇　点滴
◇　鼻からの管で腸管の内容物を吸引する

また、腸の血流障害が起こると、緊急手術が必要になることもあります。

腸閉塞の予防

○　**便秘がちな人は、食事・運動・排便習慣を見なおす**

バランスのよい食事、適度な運動と日頃から便通を調えるため、毎日決まった時間に、トイレに行くなど排便のリズムを整える工夫も大切です。

○　**大腸がんの早期発見に努めよう**

高齢者の腸閉塞では、大腸がんが重大な原因の一つです。大腸がん検診の便潜血検査で、多くがより早期に内視鏡検査でがんを見つけることができます。

また、直腸がんは、便が細くなるといった兆候で気づくこともあります。

○　**腸閉塞が疑われる症状が現れたら、すぐに受診する**

腹痛や腹部膨満感は、さまざまな原因で起こりますが、もし腸閉塞で血流障害を伴えば、６～８時間以内に治療が必要といわれています。お腹の手術を受けたことがある人は、飲食せずに速やかに受診しましょう。

郡山駅前健康相談センターの御案内

開所日時　：　毎週火～日曜日　午前１０時～午後７時
担　　当　：　保健師・看護師・栄養士
場　　所　：　ビッグアイ７階　市民交流プラザ内
電　　話　：　０２４－９８３－７７１５

〇からだ、こころの健康・食生活・子育て等の相談
〇食生活の相談（塩分濃度測定）
〇HIV・梅毒抗体検査　毎月第３土曜日　午後１時３０分～２時受付　（予約なし）
〇骨コツ相談（骨密度測定）毎月第１、４土曜・第２木曜日　午後１時３０分～４時（要予約）
〇母子健康手帳・予防接種券の交付

発行：駅前健康相談センター　令和３年４月